

2026年10月19日  
認定NPO法人キャンサーネットジャパン

## 第5回高校生アイデアフェス # 仲間と一緒に考える子宮頸がん

～2026 年 11 月 8 日（日）高校生によるプレゼンテーションの観覧者を募集～

認定NPO法人キャンサーネットジャパン（東京都文京区 理事長 岩瀬 哲）では、LAVENDER RING（詳細後述）の活動の一環として、港区と共催で「高校生アイデアフェス # 仲間と一緒に考える子宮頸がん」を実施し、今年で5回目を迎えます。

このたび、子宮頸がんの予防について同世代に周知するために、高校生が自分たちで考えたアイデアをステッカーに落とし込み、そのアイデアをプレゼンテーションします。

日本では、年間で約1万人が子宮頸がん罹患し、約2,800人が亡くなっています（※1）。性交渉によるヒトパピローマウィルス（HPV）の感染が主な原因で、多くの女性が一生に一度はHPVに感染すると言われていますが、体の免疫力で自然に検出されなくなります。しかしまれに持続感染する場合があります、さらにそのうちの一部の細胞が、がんへと進行していきます。20代から罹患者が増え始めるんですが、HPVワクチンの接種と、定期的な検診を受けることで、予防できるがんと言われています。

そのために、若い世代が正しい情報を知っておくことが、  
大切です。

日本での令和7年度のHPVワクチンの接種率は、55.7%  
 でした（※2、定期接種の対象者が1回でも接種）。世界保健機関（WHO）では、2030年までのグローバル目標として「15歳までの少女の90%にHPVワクチンを接種すること」を掲げています（※3）が、まだまだ目標値には遠い状況です。

また、子宮頸がん検診の受診率は、46.1%（※4）で、アメリカやイギリスと比較しても2分の1程度だ（※5）と言われています。

このような状況下で、子宮頸がんについて、またその予防について、高校生が「自分ごと」として考えることができるきっかけになれば、と高校生アイデアフェスを開催しています。ぜひ高校生が作り出すアイデアのプレゼンテーションを聴きにご来場ください。



【本件に関するお問い合わせ先】

認定 NPO 法人がんサーネットジャパン 担当：多田

〒113-0034 東京都文京区湯島 1-10-2 御茶ノ水 K&amp;Kビル 2F

Mail. [info@cancernet.jp](mailto:info@cancernet.jp) / Tel. 03-5840-6072 / Fax. 03-5840-6073

## NEWS RELEASE

### 高校生アイデアフェスとは

LAVENDER RINGと港区が共催し、高校生がチームで参加し、子宮頸がんの予防・検診啓発につなげるステッカーなどのアイデアを考案・発表するプロジェクトです。参加者の高校生たちは、前もって、オンデマンドの講演とオリエンテーションでのインプットセッションで子宮頸がんとその予防について学んだうえで、1か月かけて、子宮頸がんの予防について同世代に周知するアイデアをステッカーにまとめます。その間、プロのアートディレクターやコピーライターがみなさんのアイデアづくりをサポートします。11月8日には、考えたアイデアを発表し、その場で審査員がコメントをします。高校生ならではの視点でのアイデアは、とても新鮮です。ステッカーは、港区内の各高校や図書館などに配布されます。<https://lavender-ring.com/action/ideaafes/>

### 第5回高校生アイデアフェス #仲間と一緒に考える子宮頸がん 概要

アイデア発表日： 2026年11月8日（日） 16:00～17:30

場所： みなと保健所8Fホール（東京都港区三田1丁目4-10）

<https://www.city.minato.tokyo.jp/shisetsu/hokenjo/hokenjo/00.html>

審査員： 稲葉可奈子氏（産婦人科医）、北野澤昂氏（港区みなと保健所健康推進課長）、  
原千晶氏（タレント、よつばの会 代表）、石田雅明氏（任意団体Lumiere）

観覧申込： <https://forms.gle/L4oVnF7xqDwHRRoGA>

申込期限： 2026年10月28日（水）

定員： 30名程度



← 観覧申込はこちらから



前回の高校生アイデアフェスの  
参加者が考案したステッカー

出典 ※1 国立がん研究センターがん情報サービス「子宮頸部」

[https://ganjoho.jp/reg\\_stat/statistics/stat/cancer/17\\_cervix\\_uteri.html](https://ganjoho.jp/reg_stat/statistics/stat/cancer/17_cervix_uteri.html)

※2 厚生労働省による調査「HPVワクチンの実施状況について」速報値

<https://www.mhlw.go.jp/content/11120000/001727318.pdf>

※3 子宮頸がんのない未来へ（WHOグローバル戦略）<https://japan-who.or.jp/news-releases/2011-22/>

※4 国立がん研究センターがん情報サービス「がん検診受診率（国民生活基礎調査による推計値）」2025年

[https://ganjoho.jp/med\\_pro/cancer\\_control/screening/screening.html](https://ganjoho.jp/med_pro/cancer_control/screening/screening.html)

※5 国立がん研究センターがん情報サービス「がん検診について」

[https://ganjoho.jp/med\\_pro/cancer\\_control/screening/screening.html](https://ganjoho.jp/med_pro/cancer_control/screening/screening.html)

### <認定NPO法人がんサバイバーネットジャパン>

1991年に発足し、がん患者が本人の意思に基づき治療に臨むことができるように、科学的根拠に基づく情報発信を行うことをミッションとしています。2001年にNPO法人化、2007年1月に専用事務局を開設し、現在は東京と大阪を拠点に全国で活動しています。2016年8月認定NPO法人となり、現在の主な活動は、各種がんについての啓発イベント、全国のがん診療連携拠点病院等に設置されている「もっと知ってほしいシリーズ冊子」の制作、養成講座や認定試験など教育事業等も実施しています。これらの活動を通して、がんと向き合う人々が自分らしくがんと向き合える社会を実現することを目指しています。希少がんも含め、あらゆるがんに関する最新医療情報発信のため、2014年より毎年開催しているジャパンがんサバイバーフォーラムは、がん患者・家族のみならず一般市民を対象とした最大級のがん啓発イベントです。

<https://www.cancernet.jp/>

### <LAVENDER RING>

認定NPO法人がんサバイバーネットジャパン、株式会社資生堂/資生堂ジャパン株式会社、株式会社電通の社内有志者が共同で、「すべてのがんサバイバーを、笑顔にする。」をモットーに、がんを経験しながら生きる「がんサバイバー」のためのプロジェクト。「社会のがんサバイバーに対する視点を変える」ことを目的に、企業や団体、自治体や医療機関などと共に手を取り、理解の輪を広げ、すべてのがんサバイバーが笑顔で生きられる社会の実現を目指しています。<https://lavender-ring.com/>

### 【本件に関するお問い合わせ先】

認定 NPO 法人がんサバイバーネットジャパン 担当：多田

〒113-0034 東京都文京区湯島 1-10-2 御茶ノ水 K&K ビル 2F

Mail. [info@cancernet.jp](mailto:info@cancernet.jp) / Tel. 03-5840-6072 / Fax. 03-5840-6073